
モンスターハンター ～爆炎の狩人～

赤犬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンター ～爆炎の狩人～

【Nコード】

N1077Y

【作者名】

赤犬

【あらすじ】

ここはモンスターハンターの世界。モンスターハンターとはその名の通りモンスターを狩る者である。様々な地方にハンターズギルドがあり狩人達はそこを拠点として狩りを行うのである。通常、ハンターは武器を使用しモンスターを討伐するのだがとある地方で発見された“悪魔の実”を食べると特殊な力を得る事ができるため、現在では狩りの際にその能力を用いることもできる。ただし悪魔の実の能力者はその強大すぎる能力を持つため武器の所持は禁止されている。悪魔の実が発見されてから数十年… モンスターは狩りを

しすぎた為数が減少したので狩りは禁止となった。しかし狩人達も自分達の生活がかかっているため裏でギルドを作り始めた。いわゆる“闇ギルド”という奴だ。政府では闇ギルドで働く者や闇ギルドに関わる者：つまりハンター達を指名手配にし賞金を付け始めた。この物語はそのハンターであるレオン・オルグレンの物語である。

第1話 出会い

ここは砂漠。昼間は太陽に焼き尽くされるかと思うような猛暑で、

夜は昼間とは真逆の寒さでそれこそ凍りついてしまうような気温である。

この日も強烈な猛暑であった。

レオン「ふう…これで終わりと…」

彼がレオン・オルグレン。流浪ハンターで各地を巡り、

クエストをこなして生活費を稼いでいる。

レオン「さてと…さっさとかえってゼニーに換えるか。」

???「ぎえ〜! 助けて〜!!」

砂漠の端の方で叫び声が聞こえた。みるとレオンと

同じ年くらいの青年がガレオスに追いかけていた。見た目は

ハンターのようにだが…

青年「おい！助けてくれそのハンターさん！」

レオン「は…？お前ハンターじゃねえのかよ…」

ガレオスがレオンの方へと近づいてくる。

ギャオオオ！！！！

レオン「うるせえ魚竜だな…ちったあ黙れねえのか！」

シュウウウウ…

レオンの腕から煙が出てきた。

青年「ええ！？お前、腕燃えてんぞ！」

レオン「どいてろ、邪魔だ！」

レオンがガレオスの方へと走り出す。

するとレオンの左腕がマグマの腕となった。

レオン「“冥狗”……！！」

レオンがガレオスの腹部へ強烈な掌握を繰り返した。

マグマの掌握でガレオスは腹を貫かれ数分後、絶命した。

数分後…

青年「いやあ、助かったよ！君、まさか悪魔の実の能力者？」

レオン「ああ、まあな…所でお前、名前は？」

アレク「俺か？俺はアレクってんだ！まあ一応ハンターをしてるが…

砥石を忘れちゃって…」

レオン「お前…それでもハンターか？」

砥石というのは武器の切れ味を元に戻すもので、

武器の刃部分に砥石でこすることで切れ味が新品同様になる。

近接武器を扱うハンターは必需品である。

レオン「この辺にギルドあるか？」

アレ「ああ、それなら北の方にギルドがあるぜ。」

レオン「じゃとりあえずそこに行くか。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1077y/>

モンスターハンター ～爆炎の狩人～

2011年11月16日10時09分発行